

「知識」と「教養」と「腹落ち」で明日からのビジネスに役立てる！
**「FACT LOGICAL(ファクトロジカル)」が
経済 YouTube「日経テレ東大学」にて配信スタート！**



株式会社テレビ東京コミュニケーションズ（本社：東京都港区、代表取締役社長：佐々木宣幸、以下 TXCOM）と株式会社日本経済新聞社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：長谷部剛）が運営する経済・ビジネスを楽しく学べる YouTube チャンネル『日経テレ東大学』にて、7月31日(土)よりビジネストーク番組「FACT LOGICAL(ファクトロジカル)」を開始しました。

世の中に溢れる事実(ファクト)を感情論でなく論理的に読み解く経済討論番組「FACT LOGICAL(ファクトロジカル)」。パーソナリティは早稲田大学ビジネススクール教授、入山章栄氏。ゲストには経済界の重鎮たちを招き、事実に基づいた有益な知識を視聴者に届けます。

初回ゲストは IGPI グループ会長富山和彦氏、経済アナリスト森永卓郎氏。その後もホットペッパー・外食総研竹田クニ氏やユサワフードシステム代表取締役湯澤剛氏を招き番組を展開いたします。

本動画シリーズは TXCOM と日本経済新聞社デジタル事業が立ち上げた YouTube チャンネル『日経テレ東大学』(<https://www.youtube.com/c/keizailabo>)にて配信中。ぜひチャンネル登録してご視聴ください。

■パーソナリティコメント

<入山章栄氏(早稲田大学ビジネススクール 教授) コメント>

既存の討論番組がエンタメとして盛り上がりやすいという風潮にあるなか、この番組は番組名の通りファクト(事実)とロジック(論理)で本質的な議論を試みている数少ない番組だと思います。立場の異なる人たちが討論していても、事実を連ねていくと自ずと物事の本質が見えてくるという流れはとても興味深かったです。また、各ゲストが持ってくるファクトに関してもとにかく意外で数が多いのが魅力的。飽きることなく展開される多数のファクトを知識として勉強できるのはもちろんですがこの番組ではさらにファクトがなぜそうなったかをロジカルに考えることで腹落ちする、というところまで持っていつている。番組で得たものを自分の仕事に役立ててしまうな、と感じました。

番組を見ていただいた方にも「知識」と「教養」と「腹落ち」を得て自身の明日からのビジネスにぜひ役立ててもらえればと思います。

<報道関係各位>

-プロフィール-

早稲田大学ビジネススクール 教授

慶應義塾大学経済学部卒業、同大学院経済学研究科修士課程修了。三菱総合研究所で、主に自動車メーカー・国内外政府機関 への調査・コンサルティング業務に従事した後、2008年 に米ピッツバーグ大学経営大学院より Ph.D.(博士号)を取得。同年より米ニューヨーク州立大学バッファロー校ビジネススクール助教授。2013年より早稲田大学大学院 早稲田大学ビジネススクール准教授。2019年より現職。「Strategic Management Journal」など国際的な主要経営学術誌に論文を多数発表。著書に「世界標準の経営理論」(ダイヤモンド社)、他。テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」のレギュラーコメンテーターを務めるなど、メディアでも活発な情報発信を行っている。

【番組概要】

■ 番組タイトル：「FACT LOGICAL」(ファクトロジカル)

■ 配信日時：毎週土曜 18時配信予定

■ 配信メディア：日経テレ東大学 YouTube チャンネル

(URL) <https://www.youtube.com/c/keizailabo/>

■ 出演者

パーソナリティ：入山章栄

第一回 ゲスト：富山和彦、森永卓郎

第二回 ゲスト：竹田クニ、湯澤剛

■ 日経テレ東大学とは

『日経テレ東大学』はテレビ東京コミュニケーションズと日本経済新聞社デジタル事業が「本格的な経済を、もっとたのしく学ぶ」をコンセプトに立ち上げた YouTube チャンネル。普段、ビジネスや経済ニュースを報じている両者が、様々な経済・ビジネスコンテンツを気軽に楽しめる内容に仕立て、幅広い世代のビジネスパーソンに向けて提供します。

【YouTube URL】 <https://www.youtube.com/c/keizailabo>

【Twitter】 https://twitter.com/keizai_lab0

【Instagram】 https://www.instagram.com/keizai_lab0/

【運営会社】日本経済新聞社・テレビ東京コミュニケーションズ

本件に対する問い合わせ

テレビ東京コミュニケーションズ広報担当 pr@tx-bb.com